



よりそって

『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』

小諸市民生・児童委員協議会 広報部会

つながる私とあなた

～第5回～ みんなとの会話が活力

【東部地区】

3月13日に23年度最後のイベントとして、給食会と健康達人区らぶを行いました。参加者は15名とコロナ禍以降では最高となりました。食事前から友人達と楽しい会話が始まり、食事中も隣の人と世間話をしながらお弁当を美味しく食べました。



引き続きコグニサイズのテーマで社協地域福祉係の大野さんの指導のもと、健康達人区らぶを開催し、楽しい時間を過ごしました。



田町区ではコロナ後徐々に参加者が増えていますが、女性の方が殆んどで男性が少ない状況です。これからは男性の参加者も増加させ、地区内の皆で楽しい会話をしながら交流を深め、活力ある活動をしたいと思います。

田町区民生・児童委員 岩崎永子、柳沢俊一

下校指導 子供たちの安全のために

今年も入学式の翌日から、新一年生の下校指導が始まりました。昇降口前で帰宅方向別のグループ毎に集合し人数確認を行い、担当の先生に引率されて出発します。担当地域の民生児童委員も子供たちと一緒に歩き、通学路の様子と安全を確認します。

三岡地区の新一年生は、市区・耳取区と森山区の2グループが途中まで一緒に帰ります。今年の森山区の一年生は6名ですが、下校のグループは3名でした（少子化？）。森山区内の通学路では、道路の横断が少なくなるようにグリーンベルトが引かれて、安全度が高まりました。

毎年のことですが、畑の横の道路を歩く黄色のランドセルカバールの列は、新年度の楽しく可愛い風景です。

昨年秋には県道の拡幅工事が完成し、立派な歩道が付きました。子供たちの通学が大分安全になったと思いますが、耳取方面に行く横断歩道には、まだ信号が無く十分に注意して横断するように指導しています。自動車で通行する大人の皆さんは、くれぐれも慎重をお願いします。

森山区民生・児童委員 下平昭夫



女子高生・勇気ある親切に感動

1月のある日の夕刻4時頃、私は孫の迎えのため小諸駅に入場したところ、改札口付近で、ご老人と駅員さんが押し問答をしていました。その時、下校帰りの女子高生2名が、急ぎ早に改札口を通過し、一旦はホームに入りましたが、とっさの判断で引き返し、ご老人の手を握り構外の公衆トイレに引率していったのです。

そうです、ご老人は白杖を持つ方でトイレを探していたのです。その場の雰囲気は瞬時に察知した、勇気ある親切に脱帽しました。



帰り際『今の行動見ていたよ。有難う。』と声掛けしたら、笑顔で会釈しながらホームに駆け込んでいきました。電車に乗れただろうか？気にしつつ爽やかな気分になりました。

今の若者は勝手だと言うのは失礼、こんなにも素敵な生徒がいたのです。小諸商業生かな、小諸高校生かな。勇気ある親切に有難うです。お二人も爽やか感がきっと残ったでしょう。

大里・西小諸地区担当主任児童委員 高橋謙司



原村区民生・児童委員 柳澤薫



頑張れ、今の子ども達！
東小学校の清掃ボランティアに参加しました。高い所の窓拭きやトイレ掃除のお手伝いです。トイレ掃除は三年生の担当でした。子ども達もならばやりたくない掃除場所もあるのでしょね。良いことも悪いことも持ち回りだよ、と言われているように思われます。お手伝いをしながらの子ども達とのやり取りは楽しくて、何より参加した自分自身が一番元気をいただきました。
♪頑張れ、頑張れ、今の子ども達
あした天気にしておくれ♪
という歌があります。
子ども達の素敵な笑顔が続きますように。子ども達にエールをおくり続けていきます。

民児協総会に参加して

令和6年度の小諸市民生児童(福祉)委員協議会の総会が4月22日にステラホールにて行われました。小泉市長さん他のご臨席を頂き、97名の委員が参加され『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』をスローガンとしています。

総会では、各部会の活動や取り組みについて発表がありました。地域福祉の向上のために多くの方々のお力があり作られていると感じました。また、市の福祉行政との連携も大事であり、その橋渡しになればと思います。お一人で悩んでいる人がいないように、共に支え、共に助け合えるお手伝いができたらと思います。

総会後の懇親会では、委員同士の親睦を深める事が出来て良かったと思いました。

西原区民生・児童委員 塚田秀子



「花咲く郷土」を合唱



中山孝一会長挨拶